

令和元年度

北多摩北部地域保健医療協議会
地域医療システム化推進部会

会 議 録

令和2年2月19日
多摩小平保健所

- 1 開催日時 令和2年2月19日(水曜日)
午後1時15分から午後1時51分まで
- 2 会場 多摩小平保健所 1階 講堂
- 3 北多摩北部地域保健医療協議会 地域医療システム化推進部会委員

氏名	現職
奥村 秀	一般社団法人小平市医師会長
黒田 克也	公益社団法人東村山市医師会長
田中 英樹	一般社団法人清瀬市医師会長
石橋 幸滋	一般社団法人東久留米市医師会長
指田 純	一般社団法人西東京市医師会長
多賀谷 守	公益社団法人東京都小平市歯科医師会長
北村 晃	一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会長
浅野 幸弘	公益社団法人西東京市歯科医師会長
上西 紀夫	公立昭和病院長
松本 潤	公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター院長
石井 里史	東京消防庁小平消防署長
村田 明美	公募委員
篠宮 智己	小平市健康・保険担当部長
山口 俊英	東村山市健康福祉部長
矢ヶ崎 直美	清瀬市健康福祉部健康推進担当部長
長澤 孝仁	東久留米市福祉保健部長
青柳 元久	西東京市健康福祉部ささえあい・健康づくり担当部長
山下 公平	東京都多摩小平保健所長

(敬称略)

4 欠席委員

なし

5 代理委員

- ・東京消防庁小平消防署 内山警防課長（石井委員代理）
- ・小平市健康福祉部健康推進課 小林課長補佐（篠宮委員代理）

6 出席保健所職員

- ・井上企画調整課長
- ・福田生活環境安全課長
- ・桑波田保健対策課長
- ・筒井地域保健推進担当課長

会 議 次 第

1 開 会

2 所長挨拶

3 委員紹介

4 部会長選出

5 議 事

地域保健医療推進プランの進捗状況について

(1) 在宅療養支援体制の推進について

(2) 地域医療連携について

ア 脳卒中医療連携推進事業の取組

イ 糖尿病医療連携推進事業の取組

(3) その他

6 閉 会

開会：午後1時15分

【井上企画調整課長】 定刻となりましたので、ただ今より、令和元年度北多摩北部地域保健医療協議会地域医療システム化推進部会を開催いたします。

議事までの間、進行を務めさせていただきます、私は多摩小平保健所企画調整課長の井上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、本日、本来でしたら、もう少し時間をとりましてこの部会を開催するところですが、新型コロナウイルス感染症のこうした状況の中ですので、この部会を約30分程度で、少し中身を濃く圧縮する形で行いまして、そこで一旦終了とさせていただきます。そして、改めて「新型コロナウイルス感染症に関する関係者連絡会」ということで開催させていただきます。急遽変更となりまして誠に申し訳ございませんが、御協力よろしくをお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、多摩小平保健所長、山下より御挨拶申し上げます。

【山下多摩小平保健所長】 皆様、こんにちは。多摩小平保健所長の山下でございます。

本日は、年度末を控えての時期、新型コロナウイルスの対応で、皆様も大変お忙しい中の御出席、誠にありがとうございます。また、委員の皆様には、日頃から北多摩北部地域保健医療協議会の運営並びに保健所業務への御理解、御協力を賜りまして誠にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

この地域医療システム化推進部会では、切れ目のない保健医療と医療安全対策の推進を図ってまいります。また、災害時保健医療対策も所掌事項でございます。また、生涯を通じた健康づくりの推進のうち、歯と口腔の健康づくりも本部会の所掌でございます。

本日ですが、平成30年度から6年間を計画期間としております地域保健医療推進プランの2年目の各分野の進捗状況につきまして御報告させていただきます。この外にも地域医療連携、医療安全支援事業、歯科保健推進会議等の御報告もさせていただきますが、本日、この後、先ほど井上から申し上げましたように、「新型コロナウイルス感染症に関する関係者連絡会」を予定しております。このため、部会としての時間は短くなっておりますが、せっかくの機会ですので、皆様からは忌憚のない御意見をいただければと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【井上企画調整課長】 次に、次第の3、委員紹介に入らせていただきます。

机前にお配りしました座席表、そして出席者名簿を御覧ください。本日は時間の都合上、お一人お一人の紹介ではなく、今年度新たに就任いただいた委員のみの御紹介とさせていただきます。

清瀬市医師会長、田中委員でございます。

【田中委員】 田中です。よろしくお願いいたします。

【井上企画調整課長】 小平消防署長、石井委員の代理で内山警防課長でございます。

【石井委員代理（内山課長）】 内山でございます。よろしくお願いいたします。

【井上企画調整課長】 公募委員の村田委員でございます。

【村田委員】 村田でございます。よろしくお願いいたします。

【井上企画調整課長】 清瀬市健康福祉部健康推進担当部長の矢ヶ崎委員でございます。

【矢ヶ崎委員】 よろしくよろしくお願いいたします。

【井上企画調整課長】 東久留米市福祉保健部長、長澤委員でございます。

【長澤委員】 よろしくよろしくお願いいたします。

【井上企画調整課長】 次に、資料の確認をさせていただきます。

座席表、出席者名簿のほかに、ダブルクリップで留めた資料がございます。会議次第のほか、資料1から資料14まで御用意しております。確認してお配りしておりますが、何かございましたら事務局の方にお願いたします。

本日の会議録及び会議資料につきましては、協議会設置要綱によりまして原則公開ということになっております。また、会議録は、後日ホームページに掲載いたします。よろしいでしょうか。

続きまして、次第の4、部会長の選出をお願いしたいと思います。今年度は委員の改選がありましたので、部会長を改めて選出する必要があります。資料2、協議会設置要綱第7の3の規定によりまして、部会長は部会の委員の互選により選出することになっております。

どなたか、御推薦はございませんか。

奥村委員、お願いいたします。

【奥村委員】 長年、この部会の委員を務められて、また、去年は部会長を務められました東久留米市医師会の石橋先生を推薦したいと思います。

【井上企画調整課長】 石橋委員を推薦する御発声がございました。皆様、いかがでしょうか。

(拍 手)

【井上企画調整課長】 ありがとうございます。

御了承をいただきましたので、部会長は引き続き、石橋委員にお願いしたいと思います。

それでは、石橋部会長より御挨拶を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

【石橋部会長】 皆さん、こんにちは。ただいま部会長に御推薦いただきまして、今日の話し合いを、短いながらも積極的に進めていただきたいと思いますので、早速ですが、議事に入りしたいと思います。

まず、議事「地域保健医療推進プランの進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

【井上企画調整課長】 それでは、資料3から5につきまして御説明させていただきます。

資料1は名簿でございます。そして、資料2につきましては、先ほどの御紹介の設置要綱となります。

資料3につきましては、横書きのものになっております。これは、このプランをどのような形で進めていくかということで図示したものでございます。協議会の下に3つの部会がございます。この協議会及び部会におきまして、個別プランの取組状況の把握、重点プランの進行管理、先進事例等の報告をさせていただくことになっております。

先ほど所長からもありましたが、今年度は策定2年目ということになりますので、個別プランにつきまして、初年度と中間評価、最終評価につきましては全プラン33を評価する形になりますが、今年度につきましては19項目についてその取組状況を把握するという形とさせていただきます。また、重点プランと設定している項目につきましては、その下にありますように、毎年度各部会において進行管理をしていくということ。さらには、一番下を書いてありますように、先進事例を各市及び関係機関から頂戴いたしまして、これを収集し、発信していくというふうな形で進めさせていただきます。

こうした形で進めまして、中間評価の年が2020年度となりますので、ここで全体の進捗状況を評価いたしまして課題を明確化した上で、2023年度、ここで最終評価、この課題を踏まえて反映させて、次期計画の改定という形で進めさせていただきたいと存じております。

続きまして、資料4でございます。こちらについては、各部会につきまして所掌事項をわかりやすく図示したものでございます。

資料5を御覧下さい。先ほど申し上げましたように、プランが33項目ございます。従

いまして、左から見ていただきますと、それぞれの項目にそれぞれのプラン名が記載されておりまして33あるということになっております。共通項目に二重丸、そして重点に黒星印というような形で示しております。本日のシステム化推進部会につきましては、所掌部会としては一番右側の欄、黒丸、このところで所掌事項を示しております。

おめくりいただきますと、各部会の所掌事項が記載ございまして、本部会は11のプランの内容を進捗管理していくわけでございます。

続きまして、資料6を御覧下さい。資料6と7を御覧いただきながら説明させていただきますが、主に資料6を使わせていただきます。資料6につきましては、こちらのシステム化推進部会で、7項目を見ていきますと先ほど申し上げたところです。従いまして、この資料6には1シートずつ1項目という記載にしておりますので、A3資料、この資料6は7ページまでございます。

最初の1ページは、「ライフステージに沿った歯と口腔の健康づくりの推進」となっております。この中で真ん中に指標がございます。12歳児のむし歯のない者の割合、3歳児のむし歯のない者の割合となっております。全体を見ていきますと、12歳児につきましては、各市において60%台が多くありますけれども、経年変化を見ていきますと少しずつ上がってきているところです。また、3歳児のむし歯のない者の割合につきましては、各市において、ほぼこの目標を既に達成している状況となっております。

続きまして、2ページ目を御覧下さい。シートの2は、「障害者歯科保健医療の支援」となっております。こちらにつきましても、各市から様々な取組を書きいただいているところです。

一番下に多摩小平保健所の記載がございます。この中で、特に指標にも掲げておりますが、歯ッピー大会の開催がございます。これを全市で開催していくことを目標として掲げております。今年度につきましては、東久留米市に御協力を賜りまして開催したところです。この際に、大会についてのみならず、市における障害者の歯科治療、口腔ケアの現状はどのようになっているのかといったことを把握する、また、課題が何なのかということの意見交換も積極的にさせていただきました。このような形で、来年度につきましては、小平市、そして清瀬市とともに開催してまいりたいと思っております。

続きまして、3ページとなります。こちらにつきましては、脳卒中でございます。脳卒中につきましては、医療連携推進事業ということで西東京市医師会に委託をさせていただきます実施していただいているところでございます。

また、4ページの糖尿病につきましては、小平市医師会にお願いしているところでござ

います。本日は、各医師会長からご発言を賜るということでお願いしております。後ほど、どうぞよろしくお願いいいたします。

次に、5ページでございます。こちらにつきましては、「在宅療養支援体制の推進」となっております。各市が様々な取組を実施していることがこの表から見てとれるところでございます。本日は、具体的な事例、状況といたしまして、清瀬市医師会長から、また、西東京市から御報告を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。その際に詳しくお話を聞かせていただいて、皆様と共有させていただきたいと思っております。

次に6ページですが、「医療安全支援センター事業の推進」でございます。こちらは保健所が実施している事業でございます。研修等も実施しておりますが、患者の声相談窓口ということで、市民の皆様からお電話を頂戴しているところでございます。ここを見ますと、2018、2019年度と相談件数に若干の減少が見られております。こちらについては少し整理しておりまして、昨年度は他県からの歯科の相談が非常に多く入ってきていたため、今年度は当所のホームページに工夫をいたしまして、この圏域の方々の相談をお受けするような形で調整が図られたところです。こちらについては、今日は詳細な御説明はできないのですが、資料10として取りまとめておりますので、後ほど見ていただければと思います。

最後のページです。「災害時保健活動の体制強化」ということで、これは水害等もございまして、さらに体制強化をする必要があるというのが皆様の共通の認識だと思います。こちらについても、今日は詳細についての意見交換等はできないのですが、資料12として、保健所における取組、これは各市と協働する形になりますが、その内容についてまとめておりますので、御覧いただきたいと思います。

その他の資料もたくさんお付けしておりますが、事前にお送りした資料の中で、御不明な点、御意見などがありましたら、今日は時間がないため大変申し訳ありませんが、後ほど事務局に御意見を頂戴できればと思っております。お電話等でも結構ですので、どうぞよろしくお願いいいたします。

以上で私からの説明を終わります。

【石橋部会長】 事務局から全体を通して説明していただきましたが、圏域重点プランである「在宅療養支援体制の推進」というのは、市が中心となって地域の実情に合わせて行っていただいておりますので、それにつきまして、市や連携する医師会の取組について説明をお願いしたいと思います。

それでは、まず、清瀬市医療・介護連携推進事業を受託し実施されている清瀬市医師会

の田中委員から、よろしくお願いします。

【田中委員】 清瀬市医師会です。

各市の先生方もいろいろされているところとあまり変わらないかもしれませんが、私たちのところでは、まず、協議会で普及啓発部会、情報連携部会、研修部会、実行部会といろいろ分けて部会をやっていきます。特に研修部会につきましては、年6回開催しております。皆、どのように研修会自体を活性化していけるか、市民の方たちにどれだけ来ていただけるかということを考えてっております。

資料の後ろの方にチラシがついていますが、「きよせケアセミナー」という研修を8月31日と、12月14日に行っております。今回は両日ともACP（アドバンス・ケア・プランニング）を議題として挙げていまして、今、ACPがとても大切だということで行っております。

うちのACPのセミナーについて私が今までと違うものを感じたのは、グループワーキングをやっていると、今まではグループ分けをされていると、皆さん、講演者の先生方が一人一人に当てていくのですが、うちのグループワーキングに関しては、そういうことをせずに、独自にグループごとに何人かが自発的に意見を出し、質問をしていく形になっております。また、講義をされている先生方もそれに明快に答えていただいて、多職種の方たちには非常に有意義な会になっているかと思っております。

次に、市民公開講座をしております。2月8日に行ったばかりですが、タイトルは、「認知症は予防できる!？」で、パネルディスカッションの方は「地域で支える認知症」ということで行いました。100人の募集をかけたところ、135名の方に来ていただきました。皆さん、かなり興味があるようで、アンケートをとりましたが、かなり多くの方にアンケートに答えていただきました。やはり認知症というのは皆さん非常に注目されているところだろうと思っておりますので、ますます当市の事業を活性化して、この件について勉強していきたいと思っております。

以上です。

【石橋部会長】 ありがとうございます。

続きまして、西東京市の青柳委員、よろしいでしょうか。

【青柳委員】 西東京市の青柳でございます。いつもお世話になっております。

お時間をいただきましたので、在宅療養の関係の在宅療養支援体制の推進のところ以西東京市の取組を簡単にご紹介させていただきます。カラー刷りの資料を保健所に御用意いただきましたので、一番後ろに綴られているものですが、御参照いただければと思います。

西東京市では、現在、「地域包括ケアシステム推進協議会」というものを立ち上げており、こちらは、西東京市医師会で元々医師会事業として実施していただいていた在宅療養推進協議会を市の事業として現在進めているところです。協議会の下に6つの部会を設けておりまして、それぞれ、こちらの表にあるようないろいろな職種の方に御参加いただいて実施しているところでございます。

1枚おめくりいただきまして、今回、この部会の中の1つ、「連携のしくみづくり部会」について御紹介するようにと御依頼をいただいておりますので、2ページを御覧いただきたいのですが、この「連携のしくみづくり部会」の中には、リーダー研修、病院・在宅研修、多職種研修といった研修を設けております。リーダー研修であれば医療・介護連携の中核的人材の養成、病院・在宅研修ではそれぞれの相互理解、多職種研修では顔の見える関係づくりといったことを推し進めているという内容でございます。

この中でもう一つ、もう1枚おめくりいただきまして、病院・在宅研修でございます。こちらにつきましては、病院のドクター、また、院内で活動されている方と、在宅診療、訪問看護師の方や、ケアマネなど介護支援専門員の方、訪問介護の方、こうした方々がそれぞれの職種についてのノウハウやスキルをお互い共有しましょうということで、この研修の目的として実施させていただいているところでございます。

研修の方法としましては、それぞれがそれぞれの職種のところに同行していただいて、体験、また、実際にその職種についての内容を経験していただくといったこととさせていただきます。

3番の職種のところですが、今年度は佐々総合病院に御協力いただきまして実施させていただいております。昨年度は田無病院にお願いしておりまして、市内の病院を順次、年度ごとにかえて、続けて実施していきたいと考えておりまして、今年度が2回目の実施になっております。この参加職種も、病院側の先生や看護師の方が在宅の方に一緒に行っていただく、またその逆というような内容でやっております。

研修につきましては、昨年12月から今年の1月にかけて実施させていただきまして、ちょうど昨日なのですが、佐々総合病院の会場をお借りして報告会ということで、それぞれ皆様から御意見等をいただいたところでございます。

こちらについては、やはり病院の方からしますと、普段、訪問の現場の様子がなかなかわからないところが、実際に体験することによって、病院側から見た訪問の実情であったり、また、これから先、気をつけていきたいことの気付きがあったということ、逆もまた然りですが、そういった御意見をいただいたところです。

この地域包括ケアシステム推進協議会ですが、協議会の会長を指田先生にお願いしております。昨日の報告会にもずっと先生にいていただいております。先生から何か補足があればお願いいたします。

【石橋部会長】 指田委員、ございますか。

【指田委員】 同じりハビリの職種でも、ポジションが違くと、在宅をメインにやっている方と、病院でやっている方では、やはり感じるところが違うということ、非常に皆さん、驚かれつつ、吸収しようという感じで、昨日はあっという間の2時間半でしたね。顔が見える関係ができて、これからそれがまた発展していけばいいと考えております。

以上です。

【青柳委員】 ありがとうございます。

西東京市からの報告は以上でございます。

【石橋部会長】 田中委員、青柳委員、指田委員ありがとうございます。

本当に各市、素晴らしい取組をされて、今ご発表をいただいた2市だけでなく、他の市の活動も素晴らしいものかなと思っております。ぜひ、他市の例も参考にしながら、今後さらに発展させていただければと思っております。

何か質問とか、御意見とかございますか。御意見をいただければ、参考にさせていただきますと思いますが、よろしいですか。

それでは、次に進めさせていただきたいと思っております。次は、地域医療連携につきまして、「脳卒中医療連携推進事業の取組」と、「糖尿病医療連携推進事業の取組」ということで、まず、昨年度から脳卒中の事務局を担当していただいております西東京市医師会の指田委員、よろしく申し上げます。

【指田委員】 昨年度から脳卒中医療連携推進事業の事務局を西東京市医師会でさせていただきます。

組織形態ですけれども、全体の会として脳卒中ネットワーク委員会というものがあり、委員は25名で、昨年は委員会を3回開催しております。この親会の下に急性期部会、回復期部会、維持期部会と3部会作りまして、各市医師会からお一人ずつ先生に出させていただいて協議をしています。それぞれ年間2回ずつ開催しています。

今後の予定としましては、都民公開講座を2月22日、今度の土曜日に、急性期の対応ということで、西東京市のコール田無で開催する予定になっております。

また、医療・介護従事者向けの研修会として、昨年7月18日、「維持期の摂食嚥下リハビリテーション」として、おいしく、楽しく、美しく、要介護高齢者への誤嚥性肺炎予防

のための口腔ケアという内容で、日本大学歯学部摂食機能療法学講座の植田先生にご講演をお願いしております。

それから、今年1月28日、救急隊との意見交換会を西東京市防災センターで行いました。

以上です。

【石橋部会長】 ありがとうございます。

それでは、続きまして、糖尿病連携につきまして、奥村委員からよろしくお願ひします。

【奥村委員】 今年度から糖尿病の連携事業を担当することになりました小平市医師会です。

まず、実施事業ですが、医療連携ツールの活用促進、診療支援ツールの作成、配付、「糖尿病地域連携の登録医療機関」制度に係る取組、糖尿病性腎症重症化予防を含む糖尿病の合併症予防等の総合的な取組、地域の住民及び医療従事者に対する糖尿病対策に係る普及啓発活動、糖尿病医療連携検討会の進行管理及び地域医療システム化推進部会への報告等となっています。

その中で医療従事者向けの研修会が11月2日にありまして、「糖尿病 今ここにある危機」ということで、つながる糖尿病と歯周病、糖尿病とがんの危険な関係、糖尿病と感染症～HIVと結核について～、パネルディスカッションという内容でしたが、39名の医療従事者の方が参加されました。

2月1日には小平市医師会館で都民公開講座がありまして、「糖尿病：彼を知り己を知れば百戦殆うからず」、また、「血糖値スパイクとフレイルを予防して健康寿命を延ばす食事の工夫」という2つの演題があり、98名の都民の方が参加されました。大変盛大に行われました。

また、私個人的に眼科医として、糖尿病の先生、特にプライマリーで糖尿病治療薬を出している先生方にいつもお願いしているのですが、糖尿病の治療を始めたら、一度は眼底検査を眼科に受診するよう指導していただきたいと思っております。大体、専門にやっている先生方には、必ず糖尿病手帳を渡して受診を指導していただいているのですが、プライマリーの先生には、血糖値、HbA1cが高くても眼科への受診指導を行っていない方が目立ちます。結構眼底出血して、見えにくくなってから患者さんが受診することも経験がありますので、ぜひそういうことも重要視してやっていただきたいと思っております。

以上です。

【石橋部会長】 ありがとうございます。指田委員、奥村委員、ありがとうございます。

医療連携でございますので、病院間の連携だけではなく、病診連携、そして多職種連携ということでチームで取り組んでいるという姿がよくわかったかと思えます。

何か御意見、御質問ございますでしょうか。どうぞ。

【奥村委員】 東京消防庁小平消防署から内山さんがいらしているので、1つよろしいでしょうか。脳卒中の搬送で困ったこと、例えば急性期に東京ルールを使わなければいけなかった事例など、そういうご経験はありますか。

【石井委員代理（内山課長）】 小平消防署では直接、そういった問題があったというのは聞いておりません。

ただ、今まで救急隊として乗務してきた中では、やはりそういった事例が発生して、脳卒中A、Bという搬送先の選定分類があるのですが、そういう急性期の脳卒中疑いの方を乗せているにもかかわらず時間がかかって、結局、先生がおっしゃるとおり、東京ルールに乗せないと搬送先が決まらないということがありました。そういった患者さんはとても不幸だと思うのですね。ですから、所属から東京消防庁の救急部にそういう情報を随時上げて、この病院でこういうことがありましたというのは情報として上げさせていただいているというのが現状です。

【奥村委員】 ありがとうございます。

【石橋部会長】 よろしいですか。

【奥村委員】 はい。

【石橋部会長】 他に御質問、御意見ございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、次に進めさせていただきたいと思えます。次は、「(3) その他」でございます。事務局から推進プランの推進方法、部会所掌項目のほか、個別プランの取組、進捗状況、先進事例等につきまして報告があった訳ですが、それ以外に、全体を通して何か御意見や情報提供などがありましたら、皆様方から御意見をいただければと思えますが、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

本当に短い時間の中に無理やり詰め込んでしまいまして、ゆっくり把握できない部分もあったかと思えますが、今日の資料をもう一度見直していただいて、何か御意見がありましたら、ぜひ保健所にお出しいただければと思っております。

以上で予定されていた議事は終了いたしました。いろいろと貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。円滑な議事運営に御協力いただきまして、本日の議事が無

事終了したことを感謝申し上げます。

では、事務局にお返しいたします。

【井上企画調整課長】 石橋部会長、どうもありがとうございます。皆様、本日は御討議いただきまして誠にありがとうございます。

本日のご意見を基に、今後の保健所の様々な事業にできる限り反映させていただきたいと思っております。また、各市、関係機関・団体等との連携も、より一層強化してまいりたいと思っております。

本日ご討議いただきました議事につきましては、来年度、令和2年度に開催いたします地域保健医療協議会、こちらは親会になりますけれども、こちらに報告させていただきます。

それでは、これをもちまして令和元年度地域医療システム化推進部会を終了させていただきます。大変急がせてしまいまして誠に申し訳ございませんでした。御協力どうもありがとうございました。

閉会：午後1時51分